

# 西成連区地域づくり協議会だより

通 巻

第 8 号

発行日：平成二〇年一月一日

発行者：西成連区地域づくり協議会

一宮市小赤見字郷浦五三（一宮市西成出張所内）

電話：28-9002

## 来年度のキーワード決まる

・ 連携 ・ 連帯 ・ 連続 ・ 連絡 ・

西成連区地域づくり協議会は、10月1日、西成公民館で執行部と6部会の部会長による合同会議を開催しました。

この合同会議では、新年度の事業計画の方向付けを探るために、6部会長から、今まで開催してきた各部会の審議内容や、その経緯を報告いただき、新年度の事業に、どのように反映をさせるべきか模索・検討をしています。

これからの予定として、各部会ごとに審議内容を絞り込むために、来年度（平成21年度）の西成連区地域づくり協議会の、事業内容を示すキーワードとして、「西成連区の連携」をいっそう強めるための「連」をキーワードと決め、6部会とも今年中を目途に、結論を導き出していただくこととなりました。

来春早々には、6部会の新規計画が提案されたところで、構成団体にもご相談しご意見をいただき、調整を重ねて決定をすることになります。

連

## 地域づくりの具体策を絞り込む

### 地域を生かす事業を各部会で企画・立案

地域住民の自主的な活動を目指す、「西成連区地域づくり協議会」が、各種構成団体のご協力を得て誕生して以来、ただちに各部会が開催され、西成地域の特徴を生かすための審議が重ねられている。

一宮市は従来から連区という優れた仕組みで運営されており、平成の合併で23連区となったなかでの「西成連区地域づくり協議会」は第1号。そのため西成のこの協議会は、全ての他連区から注目をされている。自由な発想で地域を生かす事業の企画立案に、6部会が現状を見極めつつ、意欲的に取り組んでいます。

各部会での審議概要は、次のとおり。

#### ●地域福祉部会（9月22日開催）

①4校下ごとに実施する敬老会は、対象者が70歳から75歳以上に変更したため、出席者がどの校下も減少した。次年度開催の方向性については次回に決める。  
②要援護者の把握はできておらず「向こう三軒両隣」のつながり強化策を検討する。

#### ●健全育成部会（9月25日開催）

西成連区の健全育成事業の現状を検証したあと、家庭・学校・地域が三位一体で進める必要がある。学校が横のつながりとすれば、地域や子ども会で縦のつながりをどのように作るのかが鍵であろう。

#### ●生活・環境・衛生部会（10月6日開催）

上記キーワードが「連」に決まった経緯を報告のあと、4校下ごとに実施している高齢者教養講座については、一箇所に集約してはとの意見もあったが、従来どおり4校下で実施し、他校下からの参加があってもよいのではないかと。

ごみゼロ運動については、地域連携を念頭に、子ども会などそれぞれの地域諸団体にも呼びかけ、西成あげてのイベントにしていきたい。

#### ●広報部会（10月14日開催）

全戸配布の本誌（紙媒体）は、しばらくは継続するものの、将来的にはデジタル媒体のHPを開設、ブログとの併用を検討している。